芸術学部

入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

日本大学芸術学部では，本学の教育理念である「自主創造」のもと，自ら学び，自ら考え，自ら道をひらく能力を持った人材を育成します。そのため，８つの芸術分野それぞれを強く志す人，創造性が豊かでコミュニケーション能力に富み，芸術全般にわたり強い関心を持つ人，自らが芸術家，クリエイターになることを真剣に考えている人を求めます。

選抜方法として，学部実施の入学者選抜においては，各学科の特性に基づき，小論文，作文や実技等による専門試験及び面接試験を実施して，受験生の適性や創造性を個別的かつ直接的に審査するよう心掛けています。

以上を踏まえた，各学科における受入れ方針は以下のとおりです。

写真学科では，写真における芸術表現を中心に学修を行うため，写真の歴史や理論を学び，写真表現の技法について考え，報道，広告，ポートレート，芸術等の多様な分野に対応し，それぞれの専門とする写真表現を創造できる人材を求めます。

映画学科では，映画・映像における芸術表現を中心に学修を行うため，映画・映像の歴史や理論を学び，その表現技法について考え，それぞれの専門とする映画・映像表現を研究，創造できる人材を求めます。

美術学科では，美術における芸術表現を中心に学修を行うため，美術の歴史や理論を学び，美術表現の技法や活動の在り方について考え，それぞれの専門とする美術表現を創造できる人材を求めます。

音楽学科では，西洋音楽を中心としつつ，そこから広がる多様な音楽文化を対象に，演奏，創作，理論研究，音楽制作，音楽文化のマネジメントなど，音楽に関わる多様な領域を学修します。音楽の歴史や理論を学び，それぞれの専門に応じた技法や実践力を磨くとともに，人と社会をつなぎ，新たな音楽文化の価値を創造・展開できる人材を求めます。

文芸学科では，創作，研究，ジャーナリズムにわたる多様な表現活動の学修を行うため，文芸の歴史や理論を基礎教養として学び，文芸史の意義や現代文学の表現方法について考え，次世代を担う文芸表現を創造できる人材を求めます。

演劇学科では，グローバルな視野から，劇場芸術及びそれに関連する実践について学修を行うため，演劇と舞踊の理論や歴史を現代社会とのつながりの中で学び，その技法についても考え，各自の専門とする領域を研究，創造できる人材を求めます。

放送学科では，情報時代の中心的役割を果たす「放送」を深く認識させる学修を行うため，放送に関する歴史や理論を学び，映像や音響，ＣＭの表現について考え，放送を担うにふさわしい自由で豊かな表現を創造できる人材を求めます。

デザイン学科では，デザインにおける思考及び表現を中心に学修を行うため，デザインの歴史や理論を学び，デザイン手法について考え，それぞれの専門とする分野で新たなデザイン表現・価値を創造できる人材を求めます。

日本大学芸術学部では，上記の学部及び学科における入学者受入れ方針に基づき，入学者選抜においては，試験区分により以下のとおり審査し，評価します。

1　一般選抜（全学科共通）

一般選抜N全学統一方式においては，学力検査により大学生としての基礎学力到達度を審査します。また，N全学統一方式専門試験併用型においては，学力検査とともに各学科の特性に基づいた専門試験及び面接試験等を実施して，受験生の適性や創造性を個別的かつ直接的に審査し，評価します。

2　そのほかの入学者選抜

本学部では，一般選抜のほかにも，出願資格の異なる多様な入学者選抜を実施しますが，なかでも総合型選抜は，学科ごとに求める学生像を示し，特色ある人材を受入れるよう心掛けています。試験科目については，原則として各入学者選抜共通のものですが，総合型選抜については，学科によりほかの入学者選抜とは異なる選考方法で審査，評価しています。

①　写真学科

口頭試問では自己表現力，対応力及びコミュニケーション能力を，小論文試験では発想力，論理性，鑑賞力及び考察力をそれぞれ審査し，その創造性を評価します。また，面接試験では写真への情熱，写真を学修する適性及び人間性を審査し，評価します。

②　映画学科

小論文試験または実技試験（演技コースのみ）を実施します。小論文試験では論理性及び発想力を，実技試験では資質，技術及び表現力をそれぞれ審査し，その創造性を評価します。また，面接試験では映画を学ぶ意欲，適性及び人間性を審査し，評価します。

なお，総合型選抜においては，小論文試験及び面接試験に加え，実技試験，記述試験，ディベートなどのコース別試験を実施して，各コースに応じた能力を審査し，その創造性を評価します。

③　美術学科

実技試験・小論文試験ではこれまでの美術経験，表現力及び発想力を審査し，その創造性を評価します。また，面接試験では美術学修の適性及び人間性を審査し，評価します。

なお，総合型選抜においては，実技試験または小論文試験及び面接試験を実施して，各コース・専攻に応じた能力や適性を審査し，その創造性を評価します。

④　音楽学科

実技試験では，演奏または創作に関する技術と表現力を審査します。小論文試験及び口頭試問では，論理性，発想力，表現力並びにプレゼンテーション能力を審査して，総合的に評価します。さらに，グループディスカッションとプレゼンテーションを実施する専攻においては，コミュニケーション力，論理的思考力，表現力及び協働性を審査します。また，面接試験では，学修意欲，適性及び人間性を審査し，評価します。

⑤　文芸学科

想像力と思考力を必要とする出題方法で小論文・作文試験を実施します。小論文試験では論理性及び発想力を，作文試験では語彙力及び表現力をそれぞれ審査し，その創造性を評価します。また，面接試験では志望動機及び適性を審査し，評価します。

⑥　演劇学科

コースごとに作文試験または実技試験と面接試験を実施します。作文試験では課題に対する着眼点と表現力を審査し，その創造性を評価します。実技試験ではこれまでに培ってきた技術や経験のみならず，表現力と伝達力を，また，面接試験では劇場芸術を学ぶ意欲，適性及び人間性を審査し，評価します。

なお，総合型選抜においては，作文試験・実技試験・面接試験の３つの試験を実施します。

⑦　放送学科

作文試験では与えられた課題に対する着眼点，構成力及び表現力を審査し，その創造性を評価します。また，面接試験では放送分野を学ぶ上での意欲，適性及び人間性を審査し，評価します。

なお，総合型選抜においては，実技試験，小論文・作文試験及び面接試験を実施します。実技試験では将来アナウンサー及び放送分野で活躍できる者となる適性を，小論文試験では主として時事問題についての自分の考え方をそれぞれ審査します。また，面接試験では将来アナウンサー及び放送分野で活躍できる者となる上で求められる適性，人間性及び将来性を審査し，評価します。

⑧　デザイン学科

実技試験では観察力，表現力及び発想力を審査し，その創造性を評価します。また，面接試験ではデザイン学修の適性及び人間性を審査し，評価します。

なお，総合型選抜においては，小論文試験，実技試験，プレゼンテーション及び面接試験を実施します。小論文試験では論理性及び思考力を，実技試験では観察力，表現力及び発想力を，プレゼンテーションでは自己表現力及び伝達力をそれぞれ審査し，その創造性を評価します。また，面接試験ではデザインへの情熱，デザインを学修する適性及び人間性を審査し，評価します。

以　　上